

おめでとうございます



安心して暮らせる

地域を目指して

南相馬市長 渡辺一成

新年明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、アメリカ発の金融危機が全世界を覆い、世界の金融資本市場は百年に一度と言われる混乱に陥り、景気に深刻な影響を与えた一年でした。

そのような中、本市では、まちづくりを進めていくための基本的なルールを定めた「自治基本条例」を施行し、まちづくりの長期ビジョンとなる「南相馬市総合計画」がスタートしました。

また、市民の皆さんが待ち望む「新図書館」の建設着工や常磐自動車道「鹿島サービスエリア」の建設地が決定するなど、どちらもオープンが待たれるところ。さらには、小高区及び鹿島区における超高速インターネット環境の拡張をはじめ、雇用創出を図る「地域雇用創造推進事業」の採択や念願の法律事務所誘致、安心して暮らせる地域づくりのための「定住自立圏構想」先行実施団体に選定されるなど、着実に市政

を執行して参りました。

さて、合併四年目となる本年は、市立病院における医師不足の解消と経営の安定化対策をはじめ、緊急的な経済・雇用対策など、早急に解決しなければならぬ課題があります。これらの解決に向けて、医療機関の連携や地域間を結ぶ公共交通体系の確保、雇用創出・起業支援などの「定住自立圏構想」を実現し、安心して暮らせる地域を目指して参ります。

また、「南相馬市総合計画」の着実な進展を図るため、市民と行政が情報を共有するとともに、市民参加と協働のまちづくりを実践し、将来像である「ともにつくる 活力に満ちた 安心して潤いのある南相馬」の実現を目指して参りますので、市民の皆様には、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新春の門出に当たり、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

明けまして



「明るいまちづくり」を

目指して

南相馬市議会議員 小林チヨ

初春のお慶びを申し上げます

さて、一昨年の7月半ば、アメリカにおける低所得者向け住宅ローン（サブプライムローン）に端を発した金融危機の影響は、アメリカ国内に留まらず、世界中に飛び火しました。日本もこの影響をまともに受け、今大変な事態となっております。

さらには、毎日のように暗いニュースが報道され、人間の命の尊さを忘れたかのような痛ましい事件が後を絶ちません。一体この世の中はどうなったのだろうかと理解に苦しむころであります。

南相馬市が誕生してから早三年が経過いたしました。市議会においては、現在、26人の議員中2人欠員の24人体制で、執行部と共に力を合わせ市政発展のため日夜頑張っているところであります。

私は去る12月議会の初日、議長選挙におきまして、思いもしていなかった議長という大役を仰せつかり、その責任の重さを痛感しているところでございます。

私個人としての力は小さいかもしれませんが、今日までの経験、体験をフルに活かし、持てる力を十分に

発揮し、精一杯頑張る所存でございます。

これまでの議会の良いところは継続し、改善すべきところは思い切って見直しを図るなど、女性ならではの感性で、厳粛な中にも和やかで明るい議会をつくり、そして市民と共に歩む明るいまちづくりに邁進していく覚悟であります。

百年に一度というまれにみる経済危機の中、2008年の漢字は「変」に決まりましたが、変どころか大変な時代となり、大企業の従業員の解雇、学生の就職内定の取り消し等、世の中は激甚の渦となっております。

しかし、こういう時代だからこそ団結の力が必要とされております。お互いの手と手を携えて、この不況を乗り切らなければなりません。そして、一日も早く立ち直り、若者が喜んで住み続けられるまち、「明るいまち」にしたいと思っている次第でございます。

最後に、これから益々寒さに向う折、市民の皆様におかれましては、ご健康には充分に気をつけられ、新春をお迎えますよう、ご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。